

平成25年6月28日

## 学校法人溝部学園財務の現状について

24年度の学園の収支は、収入面においては、学生生徒等納付金、補助金収入が減少したものの、保険積立金等による雑収入の増加で、帰属収入は対前年比で147,433千円増加、さらに消費支出も対前年比で86,407千円減少した結果、帰属収支差額は211,226千円（同比率14.4%）となりました。

### 1. 「収支目標」

帰属収支差額については毎年黒字を維持し、同比率については最低5%以上を目指しています。

### 2. 「単年度実績」

（平成24年度決算）

帰属収入	1,462,796千円	
消費支出	1,251,570千円	
差額	211,226千円	（比率14.4%）

\*今年度は、短大、歯科、高校、幼稚園、保育園、法人本部の6部門すべてで、黒字決算となりました。

法人 収容定員充足率 75.4%

短大 収容定員充足率 73.7%

### 3. 「平成25年度の予算見込みについて」

（平成25年度予算）

帰属収入	1,246,040千円	
消費支出	1,191,360千円	
差額	54,680千円	（比率4.4%）

法人 収容定員充足率 81.8%

短大 収容定員充足率 82.1%

\*収入面は、短大、歯科、高校の収容人員を前年対比で、それぞれ39名、20名、11名増加、また幼稚園は横這いと見込んで、算出している。

\*一方支出面は、耐震診断費用、耐震補強工事の費用等を盛り込んだ結果、帰属収支差額比率は4.4%を見込んでいます。

#### 4. 経営判断指標（日本私立学校振興共済事業団）による経営状態の区分について

平成24年度の経営状態の区分については、以下の判定結果よりA2ランクの「正常状態」の区分となりました。

- ① 教育研究活動のCFは、2年以上連続黒字の状態である。
- ② 外部負債は約定年数または10年以内に返済できる。
- ③ 修正前受金保有率は100%以上である。
- ④ 帰属収支差額については、3カ年のうち2カ年以上黒字となっている。
- ⑤ 黒字幅が10%以上である。
- ⑥ 積立率が100%未満である。

以上6項目の指標における判定結果がA2ランクとなり、12ランク中2番目に位置し、「正常状態」にあたる区分となっています。